

# 利根川河口堰を通る魚 ～うなぎ～

うなぎは、一般に淡水魚として知られていますが、産卵時期を迎えたうなぎは、秋に川を下り海で産卵します。ふ化した稚魚（シラスウナギ）は、12月から5月にかけて川を遡上しますが、利根川河口堰で行われている魚類調査においても確認されています。



うなぎ

利根川河口堰周辺では、今でもうなぎを捕るための「うなぎ掻き」や「うなぎ筒」といった伝統漁法でのうなぎ漁が行われています。

「うなぎ掻き」は棒の先にカギをつけたものをたくみに操り、うなぎを引っかけて捕るものです。また「うなぎ筒※」は竹筒などをうなぎの生息域に仕掛けておき、うなぎが筒の中で休んでいるときに筒を引き揚げて捕るものです。※地元では「タカッポ」とも言われています。



シラスウナギ

うなぎの生態については近年まで、その多くが謎とされてきましたが、国や大学等の調査によって、産卵場所や時期などいくつかの謎が解明されています。昨年の6月には受精卵の採取に成功した事がニュースにもなりましたが、そのうち卵からの完全養殖が夢ではなくなり、高級魚というイメージのうなぎが安い大衆魚として出回る日がくるかもしれません。

## 530を目指して ～クリーン作戦～

当管理所では、職員が昼休みを利用して、霞ヶ浦の清掃活動を実施しています。管理所周辺には、空き缶、ペットボトルなどの様々なゴミが捨てられています。最近では、冷蔵庫やTVなどの廃棄物も見受けられます。「ゴミを捨てない」の心構えで、霞ヶ浦を綺麗にしていきたいと思います。



捨てられた廃棄物

## 沈水植物復元試験 ～より良い水環境をめざして～

霞ヶ浦の水環境改善に向け、沈水植物復元試験を実施しています。平成23年度も西浦左岸（井上地区他）において試験施設を造成します。



生育した沈水植物

試験の結果は別途本紙などでお知らせしていきます。

## トピックス

対象期間 H23.10～H24. 3

- H23.10. 9 第19回霞ヶ浦ふれあい巡視
- H23.10.23 黒部川水源清掃参加
- H23.11. 3 白鳥の里清掃大作戦参加
- 〃 東庄町ふれあいまつり
- H24. 3. 4 霞ヶ浦清掃大作戦

## 編集後記

あけましておめでとうございます。皆さんはもう初詣に行かれましたか。

ちよくら散歩にある「東国三社」とは茨城県鹿嶋市の鹿嶋神宮、千葉県香取市の香取神宮、茨城県神栖市の息栖神社のことをさしています。「お伊勢参りの後の三社参り」と呼ばれ、いずれも篤(あつ)い信仰を集めた神社ですので、皆さんも初詣にいかがでしょうか。

利根川下流総合管理所 〒300-0732 茨城県稲敷市上之島3112 Tel.0299-79-3311 FAX 0299-79-3316  
 利根川河口堰管理所 〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新宿2276 Tel.0478-86-0477 FAX 0478-86-3457  
 玉造管理所 〒311-3512 茨城県行方市玉造甲1234 Tel.0299-55-4331 FAX 0299-55-4310

※ご意見、ご質問等ございましたらご遠慮なくお寄せ下さい。(メールアドレス:mizu-tonekaryu@nifty.com)

# 水の郷から

～水がささえる豊かな社会～ vol.5

2012年(平成24年)1月発行

■発行所  
独立行政法人水資源機構  
利根川下流総合管理所  
広報誌編集委員会

●メールアドレス  
mizu-tonekaryu@nifty.com

●ホームページアドレス  
http://www.water.go.jp/kanto/kasumiga/

## ちよっくら散歩 ～鹿嶋市～

ホームページアドレス: http://city.kashima.ibaraki.jp/

### プロフィール

今回は、機構管理の湖岸堤などがある北浦南部の鹿嶋市をご紹介します。この地域は、東日本大震災で湖岸堤が被災しました。現在、復旧に全力で取り組んでいます。



鹿嶋市は、平成7年9月に鹿島町と大野村が合併して誕生しました。人口は約6万7千人、総面積は105.97km<sup>2</sup>の茨城県東南部の中心都市であり、美しい自然と歴史的伝統を持ちながら、最先端の科学技術を駆使した工業都市であり、Jリーグ鹿島アントラーズのホームタウンとして、活力と魅力に満ちた街です。

### はまぐり



国内に流通するうちの90%近くは中国産ですが、貴重な国内産の50%以上は、鹿島灘で獲れます。近年、漁獲量が減少傾向であるため漁獲制限されています。鹿島灘のはまぐりは波の荒い海の下で育つ外洋性の種なので、身が大きくて食感も非常に良く、うま味は濃厚で、格別な美味しさです。

—JAしおさい鹿嶋農産物直売所 Tel.0299-90-8310

### おりつ 下津・平井海水浴場



下津海水浴場は、駐車場にて車をおりてすぐ目の前にブルーに輝く海が広がり、平井海水浴場は、砂浜が広く、波がとても穏やかな遠浅の海となっています。両海水浴場ともに、ライフガードによる監視活動も行っているため、小さな子供でも安心して楽しめます、きれいな海を満喫できます。

### 鹿嶋神宮



鹿嶋神宮は皇紀元年(紀元前660年)の創建と伝えられており、古くから伊勢神宮、香取神宮とともに日本三大神宮とされています。古くは、皇室、藤原氏の崇敬を受け、さらに鎌倉時代以降には武家政権の信仰も得て、江戸時代より東国三社の一つとして、多くの参拝者が訪れています。また、最近では、パワースポットとしても人気があり、賑わい続けています。

「かしま桜まつり」鹿嶋城山公園 (3月末～4月中旬)  
「鹿嶋市花火大会」大船津地内北浦湖上 (8月下旬)

### イベント紹介

塚原ト伝の生誕の地であり、NHK BS時代劇「塚原ト伝」のロケ地でもある鹿嶋市は、歴史と癒しと楽しさあふれる街です。みなさま是非訪れてみてはいかがでしょうか。

# 流域を塩害から守り続けて40年 ～利根川河口堰～



利根川河口堰は、昭和46年4月から管理を開始して昨年40周年を迎えました。

利根川下流域で大規模な塩害がおきたのは、昭和33年のことでした。農作物の被害は約5億円にものぼり、取水障害も発生しました。また、昭和30年代から40年代にかけて、首都圏の水需要が増大し、水資源の開発は緊急な課題となりました。

そうした流域の方々の強い思いを受けた利根川河口堰は、階段式魚道をはじめ、今こそ珍しくないものの、日本で初の「上下段構成シェル型ゲート」などの最先端の技術を駆使して建設されました。同時に黒部川水門も、施設の老朽化に伴い、利根川下流部の塩害防止と、利根川本川の洪水が黒部川へ逆流するのを防止する機能をあわせもった施設として改築されました。

利根川河口堰の完成は、利根川大橋の完成でもあり、千葉県と茨城県が結ばれ、地域間の交流を盛んとする動脈となりました。

平成2年には予備ゲートが完成し、それまでゲートを引き上げて行うメンテナンス中に発生していた塩水遡上による取水障害を最小限にとどめることができるようになりました。

平成22年には老朽化した右岸魚道を補修して、より魚類を通りやすくさせるための機能改善を行いました。現在、利根川河口堰では、春に稚アユと、秋にサケの遡上を促すため、左右岸に設置された調節門を操作して誘導放流を行っています。昨年11月中旬に実施した調査では、ゲート上を遡っていくサケが、3時間で1,000匹以上確認できました。

東北地方太平洋沖地震では、利根川河口堰地点で震度5強を記録し、ゲートを越える津波にも襲われましたが、その後の操作に支障はありません。

これからも利根川河口堰は、自然環境に配慮しつつ、限られた貴重な資源である水を安定的に供給し、流域を塩害から守るために「地域を守る潮止堰」として、皆様に信頼される仕事を続けていきます。



予備ゲートの運搬

予備ゲートの設置



河口堰右岸魚道

# 湖岸堤災害復旧工事 始まる ～地域の安全・安心を重視した取組み～

当管理所では、東日本大震災により被災した霞ヶ浦の堤防を復旧するため「湖岸堤災害復旧工事」を実施しています。

工事は、堤防の亀裂など被災規模に応じて、堤防の一部撤去または全部撤去した後、新しい堤防を造り直します。

現在の作業は、現場の測量など事前調査を行い、工事実施に向けた準備を着実に進めているところですが、本格的に工事が始まると、土砂などを運搬する「ダンプトラック」などの車両の通行や、「ブルドーザー」「バックホウ」などの建設機械が現場で作業を行います。

工事実施にあたっては、地域の方々にご迷惑を掛けないよう次の安全・安心を重視した取組みを行って参ります。



測量作業状況



樋門調査状況

- ・ 作業時間は8時から17時を基本とし、工事用車両の走行速度を厳守するとともに、特に通学通勤時の工事車両の走行に細心の注意を払います。
- ・ 主要幹線道路から各湖岸堤までの工事車両の進入については、通行ルートを決め、地元車両の優先及び適宜交通誘導員の配置を行います。
- ・ 工事に伴って発生する騒音・振動については、関係法令を遵守するとともに、定期的な測定を行い抑制に努めます。

その他、工事実施に伴いご不便な点、ご意見等ございましたら、当管理所（担当：玉造管理所）まで、ご連絡願います。

## みんなで学ぼう！水産業体験教室 ～霞ヶ浦クイズに子供が挑戦～

平成23年10月5日、19日、26日の3日間で、行方市漁業振興協議会が主催する水産業体験教室が開催され、市内の小学生4～6年生約260人が参加しました。

子供達は班毎に分かれて船に乗り込み、定置網漁や笹浸し漁などを間近で見学し、歓声をあげていました。



楽しい漁業見学！



霞ヶ浦クイズ！

また、昼食では行方市産の野菜や肉、魚介などを使った料理に舌鼓をうち、たくさんお代わりをしていました。

当管理所では今年度から行方市の依頼を受け、霞ヶ浦に関するクイズコーナーや「霞ヶ浦の水の利用」と題した説明を行い、霞ヶ浦に関心を持ってもらいました。